

資産運用レポート：ジョエル・ティリングハスト氏の日本株投資

1 はじめに

フィデリティ最高のファンドマネジャーと称されるバリュー投資家、ジョエル・ティリングハスト氏は2つのファンドを運用しています。

- フィデリティ・ロープライズド・ストック・ファンド
- フィデリティ・シリーズ・イントリンシック・オポチュニティズ・ファンド

これらのファンドは日本株も組み入れており、会社四季報の株主欄に「BBHフィデリティロープライズドストックF」「BBHイントリンシックオポチュニティズ」として登場しています。

よって会社四季報CD-ROMで株主によるスクリーニングを行えば、保有銘柄のリストを簡単に作成できます。しかしスクリーニングでピックアップできるのは、株主名簿で上位10位に入っている会社のみです。

どうせなら、全ての銘柄を知りたいものです。そう思いつつ、フィデリティ社のサイトを物色していると、保有銘柄の一覧表が掲載されていました。「これさえ入手できれば、しめたもの」と歓喜したものの、実はここからが力仕事でした。

分散投資派のティリングハスト氏は、大量の銘柄を保有しています。しかも米国以外の先進国株式がまとめて掲載されているため、その中から日本株のみを抜き出す必要がありました。

当然ながら、社名は英語で書かれています。それを1社ずつグーグル検索にかけて、日本企業であることを確認していくのです。

今回は「フィデリティ・シリーズ・イントリンシック・オポチュニティズ・ファンド」を調べてみたのですが、驚くべきことに日本株だけで270銘柄に投資されていました。

この作業を本業で何かと忙しい個人投資家がやるのは、骨が折れると思います。英語に不慣れであれば、なおさらです。そこで資産運用レポートとしてまとめることにしました。

2 フィデリティ・シリーズ・イントリンシック・オポチュニティズ・ファンド

ティリングハスト氏の運用しているファンドとしては「フィデリティ・ロープライズド・ストック・ファンド (Fidelity Low-Priced Stock Fund)」が有名です。